



宇美町立図書館  
☎932-0600  
FAX932-0631

読書の秋

図書館では毎月の特集コーナーの他、うちどく(家読)コーナーや健康・医療特集コーナーをつくり、さまざまな角度から利用者の皆さんへ本を提供しています。読書の秋、たくさん本を読んで、読書の幅を広げてみませんか。  
※「家読」は「家庭読書の略語で家族ふれあい読書を意味し、「家族みんなで読書をする」ことで家族のコミュニケーションを深めることを目的とした読書運動です。



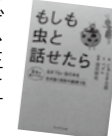
12月の特集コーナー

●一般書コーナー  
テーマ「2020年、お疲れ様でした」  
『手づくり健康酢バイブル』  
金丸絵里加／著 主婦の友社  
『最高の入浴法』  
早坂信哉／著 大和書房

●児童書コーナー  
テーマ「サンタが宇美にやってきた」  
『ムーミン谷のクリスマス』  
トーベヤンソン／原作 徳間書店  
『サン・サン・サンタのひみつきち』  
かこさとし／著 白泉社

新刊案内

一般書  
『もしも虫と話せたら』  
ペズル／文 プレジデント社  
職場の人間関係がうまくいかず、生き方に悩む青年 太郎は、雑木林でしゃべる昆虫たちと出会い…。『生き物としての先輩』である昆虫たちから、『常識つてわりと偏見』『楽と楽しいは別物』といった自然の鉄則を学ぶ。



『かわいい江戸の絵画史』  
金子信久／監修 エクスナレッジ  
単純化とデフォルメでかわいく描く、拙い描写が「かわいい」を生む、ゆるさで心を和ませる、「イカれた形に表す…。依屋宗達、伊藤若冲、与謝蕪村、円山応挙らの作品を多数取り上げ、「かわいい絵」の魅力と歴史を紹介する。



児童書

『願いを叶える雑貨店 黄昏屋』  
桐谷直／著 PHP研究所  
地図には載らない。探そうとしても見つからない。その店の名は黄昏屋。記憶を対価に、霊視メカネ、嘘つき発見リーダー等、どんな望みも叶う「不思議な雑貨」を手に入れた15人の運命は？1話5分で読めるショートショート。



しあわせに込めて／相川理沙

風吹き抜けるふるさとの町  
思い出すのはあなたと遊んだ  
学校までのひみつの抜け道  
待ち合わせした神社の鳥居  
空をおおげば聞こえてくる  
木々のざわめき私の願い  
しあわせにこれからもずっと  
あなたが笑って過ごせますように  
友達も家族もみんなが  
めいっぱい輝けるように  
光あふれる町へ

どんなことができるんだろう  
両手いっぱい大きなくすの木  
ずっと前からいつもそばにいて  
諦めない強さ教えてくれる  
ぐんぐん伸びていつの日にか  
希望の光広がってゆけ  
にぎやかに町中の夢が  
あなたの明日へつづいてゆくように  
まっすぐに進むその先で  
つながるみんなの願い  
大きな力になる  
しあわせにいつまでもずっと  
あなたが笑って過ごせますように  
友達も家族もみんなが  
うみ出す 明るい未来  
これからの100年を ラララ…

相川理沙さんの100周年記念ソング「しあわせに込めて」完成

町制施行100周年アンバサダーで、シンガー・ソングライター相川理沙さんの新曲「しあわせに込めて」が完成しました。この曲は、町制施行100周年を記念して作詞・作曲されました。相川さんは、「宇美町に住む家族や友達が、いつまでも笑って暮らせるように、日常のしあわせの中で育む人のエネルギーが町のエネルギーとして輝くように、これからも人と人との間で生み出されるものであるように」との願いを込めて作られたそうです。

この歌は、10月20日(火)に行ったバースデーイベントで披露されました。



▲相川理沙さん(左) 町長(右)

防犯功労団体表彰 受賞

10月12日(月)久山町のトリアス ユナイテッド・シネマトリアス久山店で、「令和2年粕屋地区地域安全大会」が開催され、桜原小学校区コミュニティ運営協議会安全安心部会が防犯功労団体として表彰されました。

桜原小学校区コミュニティ運営協議会安全安心部会

平成24年度から地域の見守りなどの防犯活動を行い、現在も桜原小学校区コミュニティの防犯活動と地域の安全安心なまちづくりに貢献。



宇美町農業委員会が健康祈願米を製作しました

宇美町農業委員会が町民提案自主事業として「町制施行100周年健康祈願米」を製作しました。町の清流の恵みをたっぷり含んだ宇美町産のお米、元気つくしを使用し、宇美八幡宮にてご祈願いただきました。10月20日(火)に開催された町制施行100周年バースデーイベントのメイン会場にて来賓の方々への記念品として配布したほか、今後さまざまなイベントなどで配布予定です。



▲お米を詰める様子



▲町制施行100周年健康祈願米

活動紹介



宇美町ボランティア情報

「収集ボランティア」とは、使用済みのペットボトルキャップやプルタブなどを収集する活動であり、集めたものを支援団体などへ送ることで、福祉活動や教育に役立てることが出来ます。町ボランティアセンターふみらほで、左記のものを受け入れています。

収集ボランティアにご協力を  
お願いいたします！

▼ペットボトルキャップ  
イオン九州株式会社が行う「ペットボトルキャップで世界のごもたち」にフチンを届けようキャンペーン」に協力しています。  
※今年度は9月末までに147kgのペットボトルキャップが集まり、ポリオワクチン36人分を届けることができました！

▼プルタブ

社会福祉協議会に寄贈し、地域行事などで使うレフレージョングッズの購入などに充てられます。

▼使用済み切手

国際協力NGOジョイセフ(発展途上国の妊産婦と女性の健康、命を守る活動を行う組織)に送られ、その活動に役立てられます。

▼ベルマーク・使用済みインクカートリッジ(純正品)

町内の各学校に寄付を行います。教材や備品などの購入に充てられます。



▲147kgのペットボトルキャップが集まりました！

問 まちづくり課  
共働推進係  
☎934-2370  
FAX934-2371